

コゴメミズ抽出エキス

PILEA MICROPHYLLA EXTRACT



期待される効果 Efficacy



バリア機能強化



抗酸化・老化活性



抗炎症/アレルギー

コゴメミズについて：

コゴメミズ（学名：Pilea microphylla）は、イラクサ科ピレア属に属し、茎部分は緑白色で透明、太陽の下では光を透過して見えるため、透明草とも呼ばれる植物です。

かつて景観の保水植物として利用されていた外来植物で、環境への適応力が強いため、台湾では道端の湿気の多い場所でよく見かけます。コゴメミズには優れた抗炎症作用があることが判明しており、バイオテクノロジーを利用してコゴメミズの有効成分を抽出した抽出物は、細胞学的実験により、抗酸化、抗アレルギー、皮膚細胞の増殖を促進する効果があることが確認されました。

販売名：コゴメミズ抽出エキス

表示名称：コゴメミズエキス（日本語表示名称申請中）

INCI名：Pilea Microphylla Extract

外観：薄茶～茶色

保存方法：室温・遮光

推奨配合量：1%～4%

規格：1kg

販売名	表示名称
コゴメミズ抽出エキス	水、プロパンジオール、コゴメミズエキス、ヒドロキシアセトフェノン、カプリルヒドロキサム酸、エチルヘキシルグリセリン

お問合せ先

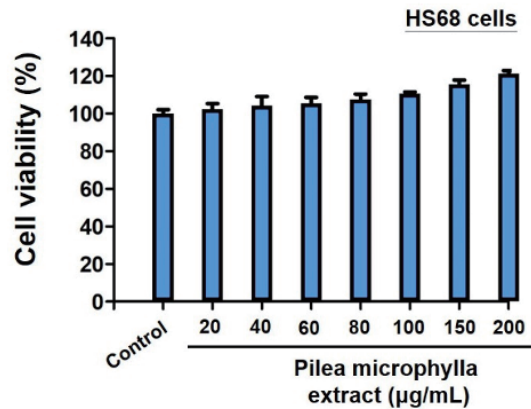
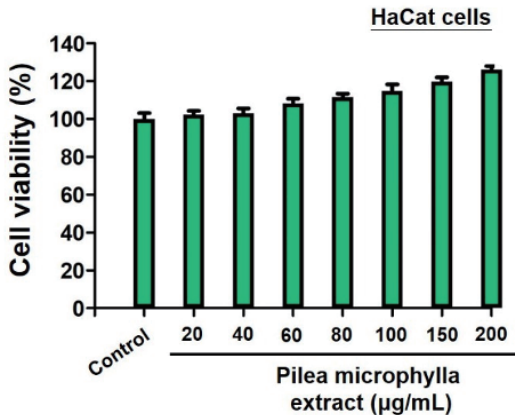
U STYLE 株式会社 〒101-0047 東京都千代田区内神田1-15-7 いちご大手町ノースビル3F
info@ustyle-japan.com TEL: 03-5244-5466 FAX: 03-5244-5465



安全性評価

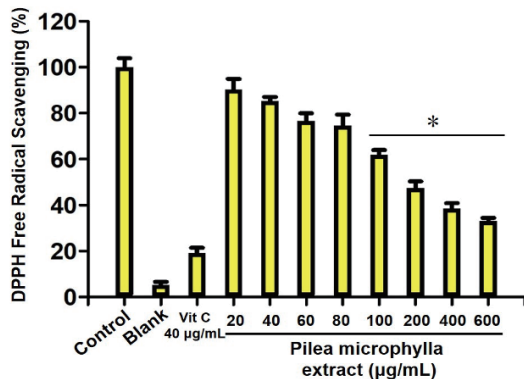
- ・細胞毒性なし・変異原性なし・刺激性なし・光毒性なし
- ・有害な成分やアレルギー成分は含まれていません
- ・アトピー性皮膚炎に悩む大人や子供にも適しています

皮膚細胞増殖を促進 Enhance cell proliferation



表皮角化細胞 (HaCat) と皮膚線維芽細胞 (HS68) の実験により、コゴメミズエキスには、細胞増殖を促進する作用があることが証明されており、高濃度でも細胞毒性が少なく、安全なスキンケア製品の原料となります。

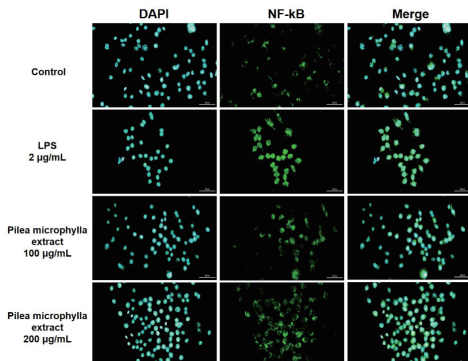
抗酸化力試験 Anti-oxidant assay



DPPHフリーラジカル消去試験では、フリーラジカル結合におけるコゴメミズエキスの有効性を確認できます。吸光度によって示されるように、DPPHの濃度が低いほど抗酸化能力が優れています。その結果、コゴメミズエキスは100 µg/mL で非常に優れた抗酸化力を持っていることが示されました。

老化指数 (Sirt6) 試験

Aging Index (Sirt 6) Test

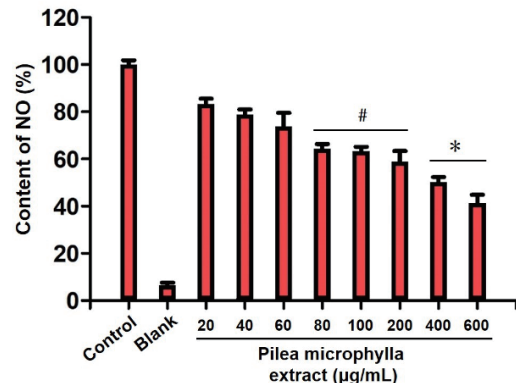


Sirt6 は、DNA修復やテロメア維持など、老化に関連する分子経路で役割を果たします。これは細胞の老化の指標として使用できます。

実験の結果、対照群コゴメミズエキスに反応せず、Sirt6の活性が低下し、コゴメミズエキスの反応濃度が増加するにつ

れて (100, 200 µg/mL)、Sirt6 の性能が大幅に向上したことがわかりました。これより、コゴメミズエキスが細胞の老化を抑制することが確認されました。

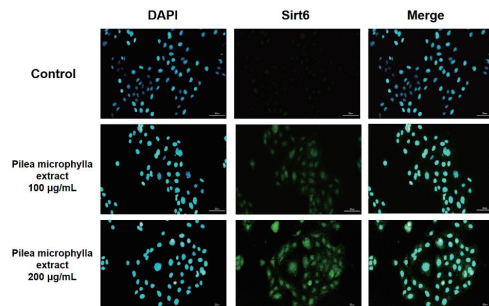
抗炎症効果試験 Anti-inflammatory assay



一酸化窒素 (NO) は体内で多くの働きをしており、炎症反応の発生もNOと密接に関係しているため、NOの含有量を抑制できれば、炎症を抑制する効果があることとなります。実験データから、コゴメミズエキスが80 µg/mLでNO含有量を有意に抑制することがわかり、コゴメミズエキスが炎症反応を抑制できることが示されました。

炎症指数 (NF-κB) 試験

Inflammatory Index (NF-κB) Test



NF-κB は炎症反応を調節する因子です。実験の結果、対照群のNF-κBの発現は比較的低く、細胞質に存在しており、LPSを添加すると細胞内で免疫応答が誘導されるた

め、蛍光強度が増加し、核に集中することがわかりました。細胞は現在免疫応答を誘導しており、その後、異なる濃度のコゴメミズエキス (100, 200 µg/mL) を加えて6時間反応させたところ、NF-κBの強度が減少し、細胞核から離れることが判明しました。これはコゴメミズエキスが炎症反応を効果的に抑制できることを示しています。